

2015年11月17日





Contents



第一部 2015年9月期 決算内容

- -連結経営成績 (P/L)
- -連結財務状況(B/S)
- -セグメント別成績
- -セグメント別要因分析

第二部 各事業進捗と戦略

- -ファイナンス/アクセルプラン2015
- -GL四半期利益推移
- -各国経済成長率
- -カンボジア
- -ラオス
- -タイ
- -その他トピックス
- -今後方針

- -コンテンツ/アクセルプラン2015
- -アジア展開
- -デジタル展開
- -リアルユーザー連合

第三部 増資

- -中期経営計画 アクセルプラン2015
- 資金調達必要性と株主利益
- -資金使途予定
- -GL新株予約権
- -増資スキーム





2015年9月期 決算内容





連結経営成績(P/L)



(単位:百万円)

	2015年度	2014年度	対前年比	2015年度 通期予想	業績予想との差	達成率
売上高	8,685	5,995	144.9%	8,700	▲ 15	99.8%
営業利益	1,631	311	524.4%	1,600	31	101.9%
経常利益	1,913	389	491.8%	1,700	213	112.5%
当期純利益	841	80	1051.3%	850	▲ 9	98.9%

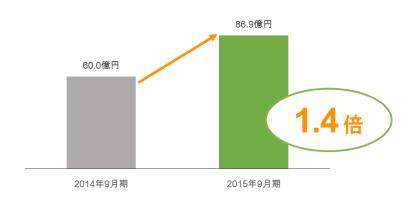




連結経営成績(P/L)



WHD 売上高



16.3億円 5.3倍

2015年9月期 2014年9月期

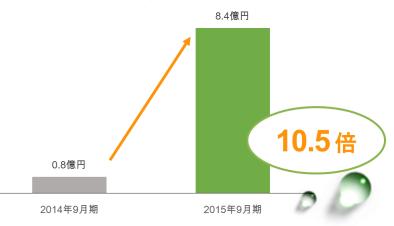
WHD 営業利益

WHD 経常利益



WHD 純利益

3.1億円





連結経営成績(P/L)



売上

営業利益

過去最高

経常利益

純利益





連結財務状況(B/S)



(単位:千円)

連結貸借対照表	2014年9月期	2015年9月期	対前期末比
流動資産	23,548,558	29,476,364	125.2%
固定資産	4,102,854	6,897,288	168.1%
(内)投資その他の 資産	/ NU4/4/	5,049,311	193.8%
資産合計	27,651,412	36,373,652	131.5%
流動負債	11,423,280	11,226,133	98.3%
固定負債	5,129,835	7,202,108	140.4%
負債合計	16,553,116	18,428,242	111.3%
株主資本合計	5,340,387	6,205,430	116.2%
純資産合計	11,098,296	17,945,410	161.7%

流動比率	206.1%	262.6%
固定比率	76.8%	111.1%
株主資本比率	19.3%	17.1%
D/Eレシオ	297.8%	283.0%





セグメント別成績



(単位:千円)

報告セグメント		2014年9月期	2015年9月期	前年同期比
ファイナンス事業	売上高	5,373,421	8,172,089	152.08%
	セグメント利益	508,711	1,845,411	362.76%
コンテンツ事業	売上高	620,939	513,095	82.63%
	セグメント利益	149,197	82,248	55.13%

【持分法適用】

リゾート事業	売上高	576,438	629,312	109.17%
	純利益	43,446	114,502	263.55%





セグメント要因分析(ファイナンス)



1 カンボジアにおける事業拡大と利益拡大

② タイにおける利益率回復と事業拡大

③ ラオスにおける事業開始と展開





セグメント要因分析 (コンテンツ)



① 企画・開発・営業の仕込み

② アジア展開

③ 新規分野進出





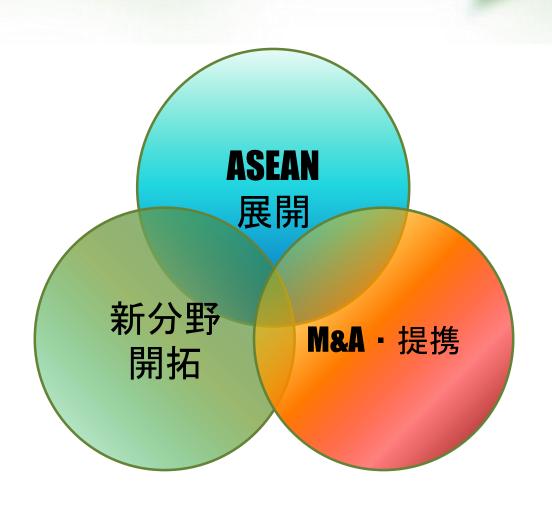
各事業進捗と戦略





ファイナンス/アクセルプラン2015









GL四半期利益推移





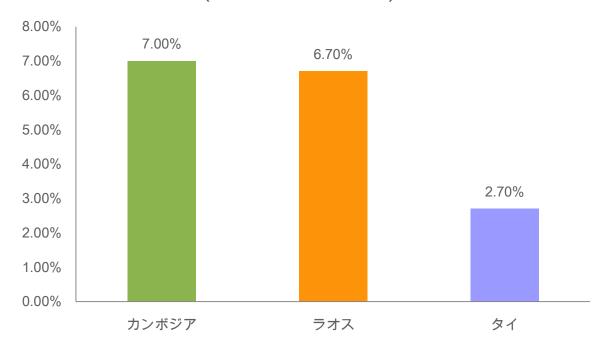




各国経済成長率



2015 各国経済成長率見通し (世界銀行より)







各国別展開



- (1)カンボジア・草の根経済成長続く「成長と新展開」
- ②ラオス・草の根経済成長続く「利益化一気にトップシェア獲得」
- ③タイ・経済停滞傾向「利益率向上と不況対応新展開」
- 4インドネシア、ベトナム「M&A交渉進める」



カンボジア



- ①HONDA NCXとファイナンス独占契約 KUBOTA農機具ファイナンス連携
- ②不良債権率は0.4%

今後利益でタイ単体(四半期8000万バーツ)を超える見通し

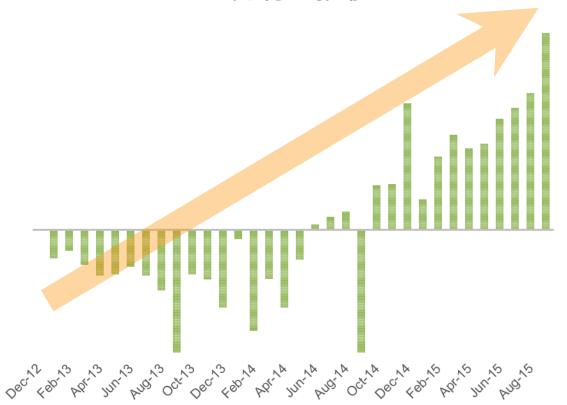
- ③草の根経済への審査能力と回収ノウハウ
- ④支店のない本店直結のITシステムとノウハウで営業・審査・ 回収がLight Asset で速く展開可能(今後全アジアでの応用 展開)



カンボジア



GLF 純利益推移





オートバイ(2012年開始)





- ①POSの増加 (昨年 10月末 80箇所 →本年 10月末141箇所)
- ②雨季ローシーズンにおいても成長(1500台 →2000台)今後はハイシーズンとなり3000台を超える
- ③審査可能地域が増加中 (POSから25KM 範囲→50KM範囲)





農機具(2014年1月開始)





①POSの増加 (昨年10月末POS12箇所 →本年10月末23箇所)

②雨季ローシーズンにおいても成長 (昨年 4.6台 → 32台) 今後はハイシーズンとなり120台目指す





ソーラー発電(2015年5月開始)









- 1国土の70%以上が Non-Grid (電線のない)地域
- ②草の根経済の人々には 電化製品及び電力への強い 需要
- ③8県で展開済み。(月間新規契約数・100件超える)

*全国24県1特別市



SME融資



- ・ディーラー等のSMEへの融資開始
- ・さらに国際展開も同時進行



ファイナンス/カンボジア









ラオス



- ①2014年会社設立、2015年5月にファイナンス免許を BOLから取得
- 2草の根経済への審査能力を活用
- ③支店のない本店直結のITシステムとノウハウで営業・審査・回収がLight Asset で速く展開可能
- 4 現状はオートバイ、農機具ファイナンスを開始



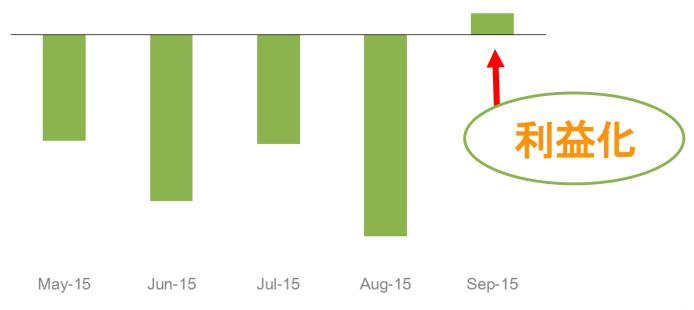


ファイナンス/ラオス



~開始5ヶ月で単月黒字化、今後は拡大見通し~

GLL 純利益推移



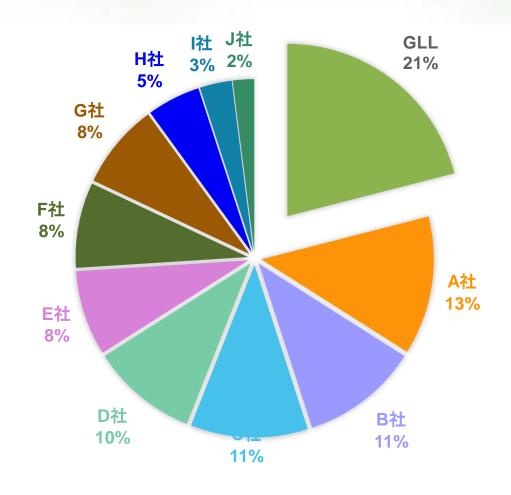




オートバイファイナンス/ラオス



~開始5ヶ月でオートバイリースシェアNo.1/に~







ファイナンス/ラオス



~Kubotaリース、9月までにほぼ100%カバー~









- ①2013年からの輸出停滞、政治的混乱に早期対応
- ②遅延債権の処理を2014年に積極的に実行
- ③新車オートバイファイナンスは抑制的な営業活動と 厳格な審査継続
- 4貸付回収が進みグループキャッシュフローの源泉に
- 5 資産担保金融と中古車オートバイファイナンスが成長





ファイナンス/タイ







新車オートバイ (1986年開始)







- ①2015年はオートバイ市場縮小
- →すでに2014年から「抑制的な営業方針」 「厳格な審査」により対応済み
- ②2013年からの経済停滞
 - →すでに2014年中に不良債権処理を積極的に実行

不良債権額は1.4億B →0.83億Bへ 約40%低下した 不良債権率は6.5% →5%へ低下見込み

③2014年に大型中古車オークションを開始し、中古車流通をコントロール

→オートバイ売却損 1.3億B →0.9億Bへ 約32%低下





資産担保金融 (2014年獲得)





- 12014年のTHANABAN社買収により ノウハウを獲得
- 2景気低迷時に強み

- ③POS数增加 (昨年 O店 → 26店)
- ④不良債権率は従来型新車オートバイファイナンスより低い(従来型6.5% → 2.3%)



ファイナンス/その他トピックス



- インドネシアにて2016年事業開始予定~PT Jtrust Finance Indonesia~
- ・中古オートバイ・自動車ファイナンス開始(昨年 O店 → 52店)

SME (中小企業) 向け融資~サービス開始~





ファイナンス/今後方針



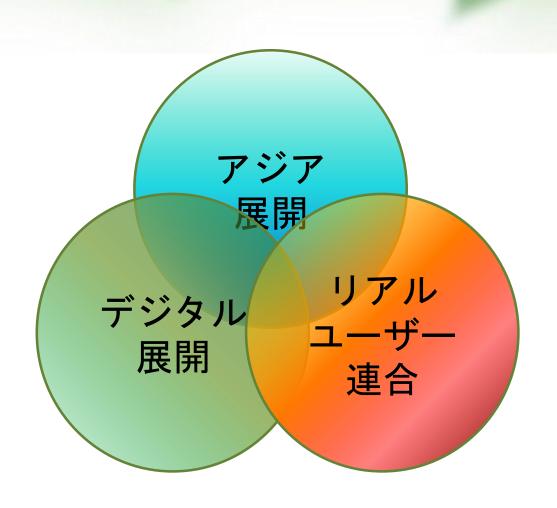
- · インドネシア・ベトナム等にてM&A模索
- ・ローカル導入グローバル展開
 - -ソーラーパネルのラオス導入
 - 資産担保金融、中古車ファイナンスのカンボジア導入
- SME (中小企業) 向け融資~サービス開始~





コンテンツ/アクセルプラン2015









アジア展開

















デジタル展開





©バードスタジオ/集英社・フジテレビ・東映アニメーション©BANDAI



リアルユーザー連合











増資





中期経営計画(アクセルプラン2015)



目標

- ·売上高 370億円
- ·純利益 30億円
- ·実質株主純資産 900億円





資金調達必要性と株主利益



- ①ファイナンス、コンテンツとも有望な投資機会にめぐまれている (=資金調達の必要性)
- ②事業の急速な拡大期にあり、高効率資金運用が可能 (=獲得資金の活用が可能)
- ③実質株主純資産増加に寄与(=中長期的株主利益増加)
- ④資金調達コストを抑制(=短中期的純利益・株主利益増加)
- **5** Life Time Investment





資金使途予定



- 1. GL株式の追加購入(38億45百万円)
- 2. リゾート事業(5千万円)
- 3. コンテンツ事業(1億円)



GL 新株予約権



新株予約権発行日	2013年12月2日
種類	株主割当
行使期限	発行日から2年を超えない
総発行数	341,568,986個
うち当社引受分	133,657,649個
株式行使価格	10バーツ

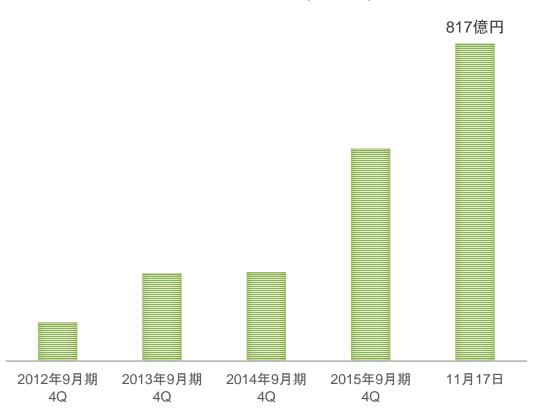




GL·時価総額推移



GL 時価総額 (JPY)



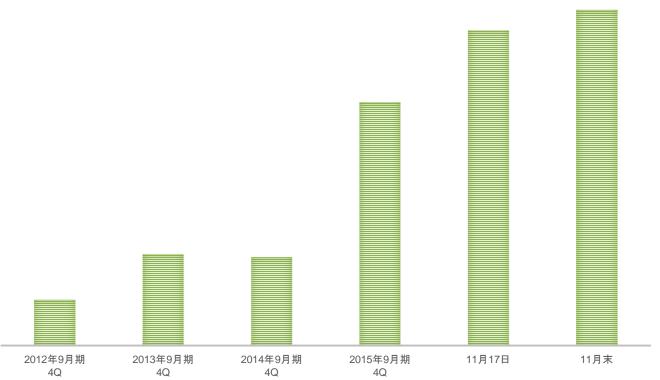




当社保有GL株式時価



当社保有GL株式時価







高効率の資産運用(最高益を更新)



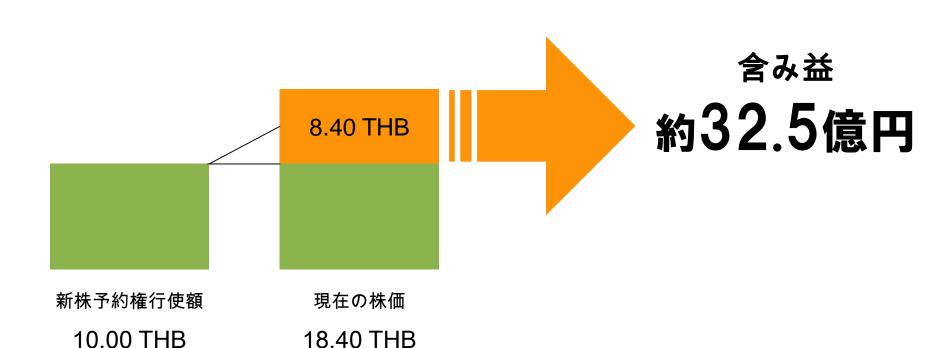






連結実質純資産増加への寄与







増資スキーム



① デット・エクイティ・スワップ (38.45億円)

② 新株予約権 (1.5億円)

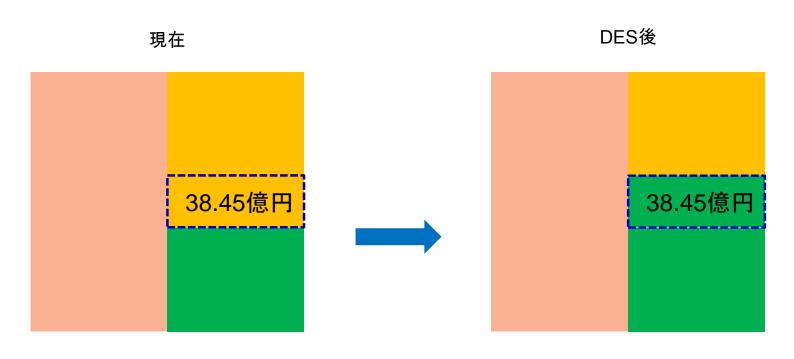




資金調達コストを抑制



~DESにより、永続的に金利負担ゼロに~



借入金利

年間 1.15億円

金利負担ゼロ



Life Time Investment





Thank you!

弊社IRに関するお問い合わせ先 株式会社ウェッジホールディングス ビジネスサポート部

TEL: 03-6225-2161 / FAX: 03-3548-0566

wedge-ir@wedge-hd.com http://www.wedge-hd.com

